

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だより No. 7

2020年12月18日発行



12月の聖句『神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された。』

(ヨハネによる福音書3章16節)

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネによる福音書3:16)

今年の聖誕劇。年長さんたちが歌うラストの「ハレルヤ クリスマス」の詞は、いつも以上に、こころに言葉が届きました。「深い闇の最中(さなか)に きらめく星は 道に迷う人への 神のまなざし…… 疲れ果てた心に ささやく声は 待ちこがれた人への 神のおとずれ……」。

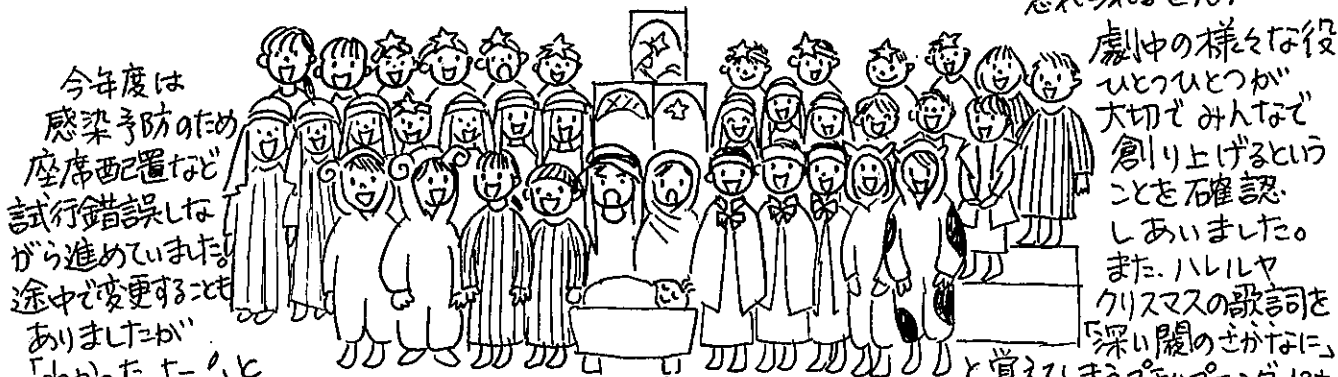
制約の中で、行われたクリスマス。そこでこそ、味わうことのできない「めぐみ」がありました。こどもたちへの神様のお守りと、さらなる導き、祝福をお祈りいたします。

あえて歌おう「ハレルヤ クリスマス 歌え よろこべ」 チャプレン 司祭 池田亨

年長・聖誕劇&祝会「つながれ！イエスさま」他

最初の役決めるとき、すでに劇中の歌を歌える子と「この役がやりたい！」と思いつけていた子など、やる気満々の年長さんたち。毎朝セリフの練習にとりくみ、終盤になるとみんなの表情が自信に溢れていきました。

「せいたんげま たのし〜い。」と楽しみなから練習に取り組んでくれたみんなの姿が忘れられません！



今年度は感染予防のため座席配置など試行錯誤しながら進めていきました。途中で変更する場面もありました。わかったよ〜とすぐに吸収してくれて頼もしかったです。

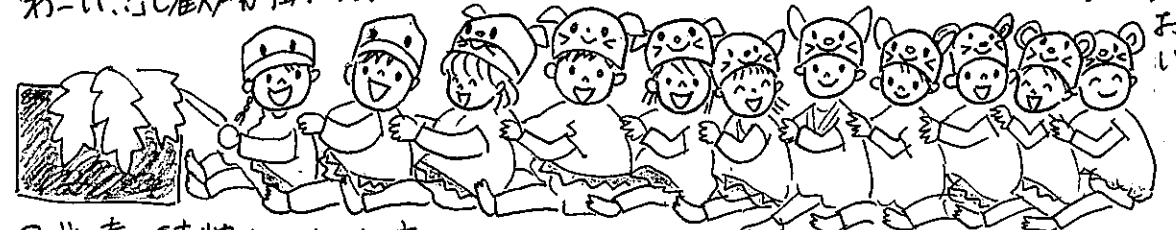
劇中の様々な役ひとつひとつが大切にみんなで作成し上げることを確認していただきました。また、ハレルヤクリスマスの歌詞を「深い闇のさなか」

当日はお休みもなく、全員で当日を迎えられたことに感謝です。緊張や楽しみな気持ち、一人一人様々な想いで当日をすごしたことを思います。本番が1番すばらしいです！全員のかたじけなく合合わせた目撃時間でした。

(みずき先生、みゆ先生、いろは先生) help ちよ先生、かほ先生、とも先生

満3歳ひよこぐみ・劇「おおきなかぶ」

ひよこ組では 采女に歌っていた♪「うんとこは どういしょ」という『いもほりのうた』が大好きだったので 子ども達が楽しみながら発表できそうなおおきなかぶの劇をやってみようと思いました。さっそくエプロンシアターを覗いてもらうと、やはりかぶを抜くとおとも楽しそうでした。そこから『おおきなかぶ』を楽しくみながら行い、自分の好きな動物を選んで役が決まりました。すると、自由遊びの時間は、クッションを使ってみんながかぶを抜こうとしている姿が見られたり、隣のお部屋から「わーい!!」と歓声が聞こえたときに「大きいかぶがめけたんじゃない?」と嬉しそうに言っていたお友だちがいました。



子ども達の純粋さにとっても癒されながら取り組むことが出来ました。

※コロナ禍でクリスマス会を行うことが出来たこと、そしてひよこ組は全員が参加できたことをとても嬉しく思います。

練習では楽しくてテンションが上がりすぎてしまうところもありましたが、本番では少し緊張したのが良かったのが、セリフも歌も上手に発表出来ていたと思います。

何よりまた3歳のひよこ組の子ども達がおうちの方を目の前にして、ステージに立つことが出来たことにとっても感動しました。それだけでも素晴らしいことだと思っております。そして、この自信が大きな成長に繋がったと思っております。(えみこ先生、しの先生)

年少ぐみ・劇「カステラ ころりん!」

(help さおり先生、とも先生、ちよ先生)

初代こりんとぐら組ということで、運動会に続きぐら組に決定!! やりたいことをみんなに聞くと「おどりたい!」「うたいたい!」「かぶりたい!」「カステラもあつた方がいい!!」と盛りだくさん。カステラも転がってアディップをみんなに聞くとゆいこくんが「おべり台は?」と提案してくれたり、踊りも、はるこくんが「汽車も、さくらうくんがゴリラをモチーフにした振りも



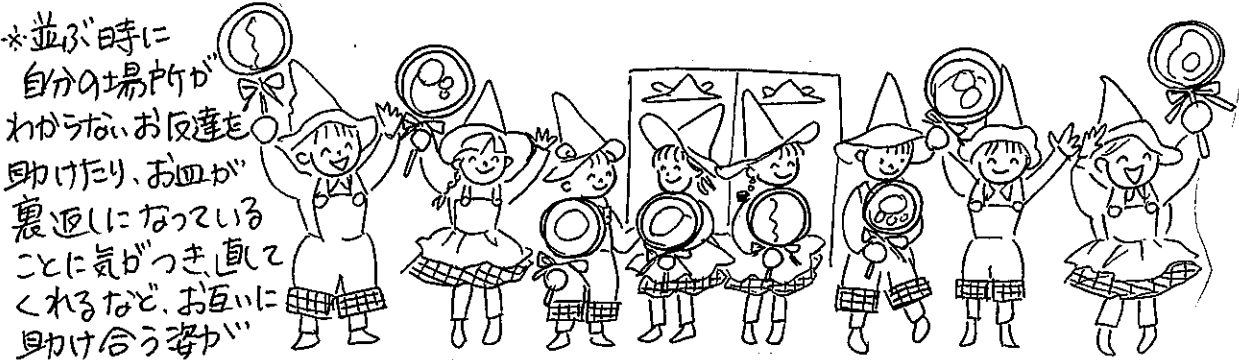
提案してくれました。みんなが決めたので練習にもかぶが入っています。楽しんでいました。

ぐら組から手紙や折り紙のプレゼントが何度も届き見てくれる。お褒めしてくれてるとパワーがまたよかったですよ!

本番が近づくにつれ「はやくやりたいなあ」「おいあせん、おまてくれるんでは、」と嬉しそうに話していました。当日、大人の心配をよそに「おはよう!!」と元氣にお部屋に来てくれました。衣装にも大喜び。ステージ横では、少し緊張したようですがいつもの顔のマッサージをしていざ本番!! 練習よりも大きな声でタイミングもバッチリな自信を持って堂々としている姿に大きな成長を感じましたね。でも劇を終るといつもの甘んぼうのみんなに、それがとてもかわいらしくて愛おしかったです。15日(月)は劇に使ったカステラでおまじことして枕にしたり、いくつかの物をみんなで作成していき楽しめたお会本が好きな気持ちがあふれていた時間でした。(あべ先生、なつこ先生)

年少ぐら・劇「ぐりとぐらのクリスマス」

※はじめは緊張から声が小さい子も多くいましたが、何度も繰り返し行う中で、一人一人が自信を持ち発表できるようになっていきました。ぐりとぐらからの手紙が「ぐりとぐらからの手紙が」ととても嬉しそうに「かんぱるぞ!!」とやる気満々のぐりとぐら。ぐりとぐらは「どこかな」と探していましたよ。※踊りが好まだったので取り入れました。X'mas会に向けて踊っている時は歌も歌いながら元気いっぱい踊って楽しんでくれました。



※並ぶ時に自分の場所がわからないお友達を助けたり、お皿が裏返しになっていることに気づき直してくれるなど、お互いに助け合う姿が見られました。 ※それぞれ楽しんでたり、緊張したり、元気でたり、協力する中で本番終えて、経験を重ね、自信ややりとげること等を感じ成長に繋がっていると思える一日でした。何より子ども達が終わったあとに笑顔を見せて嬉しそうにしている姿が印象的でした。今回の経験がぐら組のみんなにとって良い思い出になってくれると嬉しいです。 ※X'mas会が終わってからも、ぐりとぐらのお面や衣装、フライパンやカステラで遊んでいましたよ。お家でも衣装を着て楽しんでくれているよう嬉しかったです。(ゆかり先生、かほ先生)

年中あき・劇「めつきら もつきら どん どん」

劇の題材は年中も預かりで親しまれていた絵本の中から子ども達と選びました。「めつきらもつきら」の呪文は皆が音じられるほどです。役は、やりたい役も選んでもらいましたが、初回の練習後、「やっぱりOOがいい〜!!」と変動もけっこうありました。「大変だ! OO役が全然いはいよ! どうしよう!!」と困ることもしばしば。皆で相談し合って決まったら、こいつの中に「モモンガー」と言っている子に「おわわ」といって言ったり長縄も積極的に取り組んでいる子、周りに協力してくれる子、「おわわ」(ぼくもしてみたい!)と挑戦する他のクラスの子など、生活の中にとだてている姿がありました。練習はお部屋では早い段階で、ある程度開かできていたあきさんですが、ホール練習ではとどろきと声がいそいそ緊張が強く出てしまう子がたくさんです。

Illustration of children performing on stage. Text on the right: ※発表を終えて... 他のクラスの子もめつきらもつきら呪文が言っています。楽しんでくれておたのしみだと思います。緊張の中で劇を終られた子の中には、かなり自信がついたのか、お当番活動も大きな声が出ています。振り返りの活動は今後もしていきますが、この作品を深められたいいねと思っています。(かほ先生、かおり先生)

年中こん・劇「おおかみたちと7ひきのこやぎ」

最初に絵本を読んで「おおかみかわいそ〜」の言からおおかみに悲しい最後が来ないようにみんなの力で話し合いました。食べられてしまったやぎたちをお腹から出すためのびっけり作戦も「どうしたらおおかみさんびっけりするかな?」とみんなの考えを出し合って決めました。劇の中の「おおかみさんの「ばれた〜」のリアクションや歌の振り付けは練習をしていく中で、こどもたちから自然に出てきた身振りや声など、一人のお友だちがやぎの顔を見てみんな「ノリノリ」と体を動かしていました。



本番の日は、衣装を着て椅子に座って、近くのお友だちと衣装を見せ合ったり「これから劇をたのしむぞ〜」という気持ちが伝わってくるほど、目が輝いていて安心しました。本番は今まで一番大きな声が出ていて、みんな嬉しそうに演じている姿がかわいらしくて、途中様々な場面でもステージのお友達同士がお互いを助け合っていました。お年長さん達も「これからは始まる3学期の行事等に自信を持ってのびのびと活動してほしいな」と思います。(あかね先生、ちよ先生、たけもと先生)

クリスマス献金

ありがとうございました

2学期のあいだ、毎週の礼拝で、また、クリスマスを迎える期間、子どもたちが作ったかわいらしい献金箱にたくさんの献金をして下さりありがとうございました。 12月11日現在 2学期礼拝献金 39,189円 クリスマス献金 36,062円 合計 75,251円 も!! 今、日本中がコロナ禍で、子どもの貧困や虐待が増えています。そんな子どもを救う活動に使ってもらえたらと思います。 献金先を探しています。決まり次第またご報告いたします。

本当にありがとうございました。